

資料 2

前回審議会意見への対応

1

委員名	○○委員
施策の柱	1-3 日々の暮らしを守る（消防）
施策	3 消防広域化に伴う静岡市消防局との連携体制強化等を図ります
意見	静岡地域消防救急広域化を経て、静岡市との連携は図ることができているとの認識であるが、その他の近隣の市町との連携推進に関しては如何か。
回答	通常の活動では、静岡地域（静岡市、島田市、牧之原市、吉田町、川根本町）の体制で対応するが、南海トラフ等の激甚災害など現体制以上の応援が必要な場合には、浜松市、掛川市、菊川市、志太広域事務組合（焼津市、藤枝市）、袋井市森町広域施設組合（袋井市、森町）と隣接市町による応援協定を締結しています。隣接市町では対応が困難な場合は、静岡県内消防相互応援協定により県内の各消防本部からの応援を受けます。さらに、県内応援をもっても消防力が不足する場合には、全国緊急消防援助隊の出動を要請します。

2

委員名	○○委員
施策の柱	1-3 日々の暮らしを守る（消防）
施策	2 消防団体制の整備と対応能力の向上を図ります
意見	消防団員数が少ない実感があるが、人材確保についての施策はとられているのか。
回答	消防団員の確保に向けては、消防団活動に対する家族の理解促進や消防団員の加入促進を図ることを目的に、家族慰安事業を実施するほか、消防団車両を運転するのに必要な準中型運転免許を取得していない団員に対し、準中型運転免許の取得を支援しています。

3

委員名	○○委員
施策の柱	計画全体
施策	
意見	専門用語などへの注釈は付与する予定か。
回答	専門用語や略語については、説明文を注釈等で追加します。

委員名	○○委員
施策の柱	1-2 不測の事態に柔軟に対応する（危機対策）
施策	4 災害対応の中核となる人材を育成します
意見	女性活躍や活用という趣旨の文言が掲載されているが、前回と比較し、全体的にそのような視点を取り入れることとしているのか。
回答	人口の半分は女性であり、地域の防災活動に女性が積極的に参画し、女性の視点に立った災害対応を行うことにより、地域の防災力向上につながると考えるため、第2次計画から継続した取組としています。

委員名	○○委員
施策の柱	2-1 健康で自分らしく暮らす（健康）
施策	3 自然に健康になれる環境づくりを進めます
意見	ウォーカブルという言葉が初めて出てきており、近隣では掛川市が施策に取り入れているようであるが、島田市も類似の取組を行っていくとの理解でよいか。
回答	そのとおりです。自然に歩きたくなる市街地を整備することで、個人の生活環境に関わらず誰もが健康になれる環境をつくり、健康格差を解消します。

委員名	○○委員
施策の柱	2-3 生きがいを持って安心して暮らす（高齢者福祉・介護）
施策	
意見	在宅等看取りの等とは何か。
回答	静岡県人口動態統計による自宅、老人ホーム、介護医療院・老人保健施設での死亡割合を在宅等看取りの率としています。 (病院、診療所、その他 以外で、ここでいう等は、老人ホーム、介護医療院・老人保健施設を指します)

委員名	○○委員
施策の柱	2-1 健康で自分らしく暮らす（健康）
施策	2 市民の心の健康を守ります
意見	国の施策等を見ると、自殺対策とあるが、自殺予防の方がなじむのではないか。
回答	自殺対策基本法など法令や公的文書でも一般的に自殺対策という言葉を使っています。

委員名	○○委員
施策の柱	2-3 生きがいを持って安心して暮らす（高齢者福祉・介護）
施策	3 介護サービスを充実し、介護保険事業の適正な運営に努めます
意見	1つ目について、他の項目では「●●なので、●●します」という理由や背景の記載があるのに対し、実施内容のみ記載があるため、書きぶりを統一すべきではないか。
回答	施策の柱の方向性に全体としての目的が記載してあり、この施策は全体として同じ目的であるため、目的や理由の記載は不要と考えます。

委員名	○○委員
施策の柱	2-2 適切な医療提供体制を維持する（医療）
施策	1 地域医療の確保と充実を図ります
意見	施策の柱の方向性の最初3行と、1つ目が全く同じなので、見直すべきではないか。
基本計画の修正	実施しようとする取組を踏まえた記載となるよう変更します。 【修正後】 市民が医療体制の現状を正しく理解し、医療現場の負担が軽減されるよう、適正受診やかかりつけ医を持つことの必要性を啓発するとともに、必要な初期救急対応体制を維持します。

委員名	○○委員
施策の柱	2-2 適切な医療提供体制を維持する（医療）
施策	1 地域医療の確保と充実を図ります
意見	地域医療は直接受けるものであり、「恩恵」という言い方では上からという印象を受けるため、言葉の見直しが必要ではないか。
回答	地域医療基本条例などの記載を踏まえた表現としています。地域医療基本条例では、「全ての市民が将来にわたり安心して必要な地域医療の恩恵を受けることができる体制を整備することを目的とする」とあり、条例の表現を参考としています。

委員名	○○委員
施策の柱	2-1 健康で自分らしく暮らす（健康）
施策	
意見	健康教育の充実について、「食」に関する記載もあってよいのではないか。
回答	施策2-1-1の中で、「性別や年齢等に応じた食生活の改善などを促し」との記載があり、健康教育の充実も含まれています。

委員名	○○委員
施策の柱	2-1 健康で自分らしく暮らす（健康）
施策	2 市民の心の健康を守ります
意見	身近な市民も支援に加わることができるよう、ゲートキーパーの養成という点も取り入れては如何か。
回答	施策 2-1-2 に「市民・地域・職域、関係機関・団体・行政が相互に連携し、自殺対策を包括的に進めます。」とあり、この施策の中にゲートキーパー養成に関する取組も含まれています。

委員名	○○委員
施策の柱	2-2 適切な医療提供体制を維持する（医療）
施策	1 地域医療の確保と充実を図ります
意見	総合医療センターと地域医療機関との連携について、施策とその方向性の中に取組の1つとして具体的に記載してもよいのではないか。
回答	総合医療センターと地域医療機関との連携は、地域医療圏の枠組みで取り組んでいます。 多様な医療機能をすべて1つの医療機関で提供することは困難であり、限られた医療資源を有効に活用し、効率的で質の高い医療を提供するため、総合医療センターに地域医療連携室を設置し、医療機関の連携システムの推進を図っています。 このことは、分野別まちづくりの方向性 2-2-1 の施策とその方向性の中で『「静岡県保健医療計画」に基づき、地域にふさわしいバランスの取れた医療機能の分化と連携を適切に推進します。』という記載の中で包含して位置付けています。

委員名	○○委員
施策の柱	2-3 生きがいを持って安心して暮らす（高齢者福祉・介護）
施策	2 安全・安心に暮らせる環境づくりを推進します
意見	地域包括ケアシステムの充実と、市民の理解促進についても触れたほうがいいのではないか。訪問介護などのサービスが用意されていることを知らない市民も多く、実際に困ってから情報収集を始めるケースがあることから、予め認知しておくとより安心して生活できるのではないかという問題意識。
回答	サービス利用には、適切なアセスメントによるケアプランが必要となるため、地区的高齢者あんしんセンターやケアマネジャーにまずは相談することとなります。 困りごと等への相談先（高齢者あんしんセンター等）の周知を図っていきます。 (※地域包括ケアシステムの表現はありませんが、地域包括ケアシステムの深化における具体的な取組みを施策に盛り込んでいます。)

委員名	○○委員
施策の柱	2-4 認め合い地域全体で支え合う（地域福祉・障害福祉）
施策	1 地域全体で支え合う体制を強化します
意見	取組の1~3 ポツ目の冒頭の記載が全く同じであるため、記載の仕方について検討すべきではないか。
基本計画の修正	<p>同じ表現が繰り返しとなるため、次のとおり修正します。</p> <p>【修正後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複雑化、複合化した課題を解きほぐし、関係機関の役割分担と支援方法を検討します。 ・複雑化、複合化した課題を抱える人に対して、伴走型の相談支援を継続するとともに、社会との関係を持てるよう、各種福祉団体の取組などへの参加を支援します。

委員名	○○委員
施策の柱	3-1 誰もがまちづくりに関わり、魅力ある地域をつくる（市民協働、中山間地域振興）
施策	3 中山間地域での豊かな暮らしを応援します
意見	「様々な交流」について、1つでも例示があったほうが分かりやすくて良いのではないか。
基本計画の修正	<p>「様々な交流」について、例示があるほうが分かりやすいとのことですので修正します。</p> <p>【修正後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域の持つ魅力的な地域資源を活かし、農業体験等の様々な交流を生み出します。

委員名	○○委員
施策の柱	3-3 互いに尊重し、様々な違いを認め合う（人権、男女共同参画、多文化共生）
施策	2 国籍や文化にとらわれず、多様な価値を認め合う多文化共生社会の実現を目指します
意見	<p>外国人と日本人の交流に関する施策は、政策分野5に含め、政策分野3では、共生に重点を置いたほうが良いのではないか。</p> <p>また、国際交流協会ではなく、「島田市国際交流協会」への修正をお願いしたい。</p> <p>日本語学ぶ機会という記載について、日本語に限定する意図は何か。文化や生活のルール、他の言語を学びたいというところへの対応についてもあってもよいのではないか。</p>
基本計画の修正	<p>施策の柱3-3においては、多文化共生について、施策の柱5-3においては、姉妹都市や友好都市との都市間交流について記述しています。</p> <p>御指摘いただきました外国人住民と日本人住民との交流については、多文化共生の一環として実施するものと認識していますので、施策の柱3-3において記述しています。</p> <p>なお、交流が多文化共生の一環であることを分かりやすくするために表現を修正します。</p> <p>また、「島田市国際交流協会」の名称も修正します。</p> <p>日本語以外の文化については、日本語教室フレンドシップパーティの中で日本文化体験を実施しているほか、日本で生活するルールが分かるサイトのQRコードを掲載した「外国人らくらく島田せいかつ」リーフレットを島田市国際交流協会が作成し、フレンドシップパーティで配布しました。日本語以外の言語については、島田市国際交流協会で中国、韓国語、英語を学ぶ講座を実施しています。</p> <p>本項目では、日本で生活するために必要なものとして日本語を学ぶ機会について記述していることから日本語に限るもの表現としましたが、御意見を踏まえ生活に必要な文化等を学ぶことも含めるよう修正します。</p> <p>【修正後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島田市国際交流協会と連携して、国籍を問わずここに暮らす方が相互理解を深めるために交流する場の創出を支援します。 ・県や島田市国際交流協会と連携して、言語の違いを踏まえた生活に必要な情報やサービスを提供します。 ・全ての人が地域社会の構成員として共に安心して暮らせるように、生活等に必要な日本語や生活様式等を学ぶ機会を創出します。

委員名	〇〇委員
施策の柱	3-1 誰もがまちづくりに関わり、魅力ある地域をつくる（市民協働、中山間地域振興）
施策	4 未来に向けた平和なまちづくりを推進します
意見	平和という要素を入れていることについて、過去の島田市に軍事的施設があったなどの歴史的な背景があったのか。
回答	昭和 20 年 7 月 26 日午前 8 時 34 分に、島田市扇町に 1 万ポンド（約 4.5 トン）爆弾が投下され、多数の犠牲者と甚大な被害をもたらした「島田空襲」が発生しました。この島田空襲被爆者の慰靈と、戦争による惨禍が再び起こることのないよう平和を願い、平和祈念事業に取り組んでいます。

委員名	〇〇委員
施策の柱	3-2 住み続けたいと思える生活環境をつくる（公共交通、住宅、交通安全、防犯、消費生活）
施策	4 防犯活動や、交通安全・消費生活対策を推進し、安全・安心な暮らしを守ります
意見	「犯罪被害者が安心して暮らせる…」という文言は、他の項目と比べると浮いた表現という印象があるが如何か。
回答	犯罪被害者にとって、直接的な被害だけでなく、様々な二次的被害にも苦しむ場合があります。こういった犯罪被害者等が受けた被害の軽減及び回復を図り、犯罪被害者等が安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現に向けて、静岡県において「第2次静岡県犯罪被害者等支援推進計画」に基づき犯罪被害者への支援が実施されていることや、市においても「島田市犯罪被害者等支援条例」を制定し犯罪被害者支援に取り組んできたことから、第3次島田市総合計画においても掲載することとしました。

委員名	〇〇委員
施策の柱	
施策	
意見	「施策の柱の方向性」「施策とその方向性」という表現について、「方向性」が重なるためくどく感じる。
回答	策定方針における基本計画の記載に「急激な社会情勢の変化に対し、素早く柔軟に対応できるように検討」とあるため、本基本計画では、具体的な取組内容は記載せず、方向性のみを記載する方針で策定しています。このことを示すため「方向性」という表現を使用しています。

委員名	〇〇委員
施策の柱	2-4 認め合い地域全体で支え合う（地域福祉・障害福祉）
施策	3 障害者が自分らしく生きられる社会を実現します
意見	3つ目について、「障害者」と「障害のある人」が混在しているが、「障害のある人」に統一してはどうか。 施策は「障害者」のままでもよいと思うが、「障害者」よりも「障害のある人」の方が柔らかい表現に感じるため、方向性はそちらにしてはどうか。
基本計画の修正	施策と方向性の中の「障害者」の箇所も「障害がある人（障害のある人）」の表記に統一します。 【修正後】 3. 障害のある人が自分らしく暮らすことができる社会を実現します ・障害がある人の社会参加を促進するとともに障害のある人に対する理解の普及啓発に努めます。 ・障害がある人のニーズに応じた障害福祉サービスを提供します。 ・障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、権利擁護施策の推進や虐待防止対策の強化を図ります。

委員名	〇〇委員
施策の柱	3-2 住み続けたいと思える生活環境をつくる（公共交通、住宅、交通安全、防犯、消費生活）
施策	2 空き家の発生を防止するとともに、空き家の流通促進や危険な空き家対策の強化に努めます
意見	空き家はどの程度発生しているのか。また、所有権や相続の都合により、木の伐採や活用が難しいケースも一定数あるが、空き家の発生抑制や活用促進についてどのような方向性を考えているのか。
回答	令和5年住宅・土地統計調査による島田市の空き家数については、4,940戸です。このうち、令和6年度に実態調査を行い、管理されていない空き家を944戸確認しています。 空き家対策の方向性としては、所有者等に適切な管理を促すとともに、「空き家ワントップ相談会」を開催し、専門家に相談できる機会を提供することで、問題のある空き家の発生を予防してまいります。また、「空き家バンク事業」を通して、良質な空き家の流通を促進するとともに、「空き家改修等事業費補助金」や「中古住宅購入奨励金」の制度により、空き家の活用を促進してまいります。

委員名	〇〇委員
施策の柱	4-5 生涯を通じてスポーツを楽しめる環境をつくる（スポーツ）
施策	1 生涯スポーツの普及を推進します
意見	「市民ひとり1スポーツ」というスローガンを掲げる中で、スポーツ参加に消極的な方へのアプローチが特に重要という認識。また、市内の高齢化が進む中、スポーツ参加意欲があっても、体育館などの施設までの交通手段がないといった課題もあると承知しているが、気軽にスポーツを楽しんでもらうべく、この点についてどのように考えているのか。
回答	スポーツに親しむ機会を増やすため、スポーツ推進委員と連携し、誰でも気軽にできるニュースポーツや、健康を意識したスポーツなどを取り入れ、生涯スポーツの普及に取り組んでいます。 今後も、気軽に楽しく参加できるスポーツ教室などを開催していきます。 また、高齢者の介護予防等を目的としたしまトレを地域の公会堂で開催するなど、身近な場所で参加できる取組を実施しています。

委員名	〇〇委員
施策の柱	4-2 地域全体で子どもを育む（学校支援・子ども支援）
施策	3 家庭教育を推進し、子育て学習を支援します
意見	自主的に講座等に参加する家庭は、既に関心を持っていると考えられるため、それ以外の困窮・孤立している家庭への支援が大切ではないか。
回答	育児不安、困窮・孤立など、特別な支援が必要な家庭については、相談支援や子育てに関する情報提供、関係機関との連携・情報共有し、育児支援事業等に取り組んでいます。（施策の柱 2-4、4-1） ここでは、子育て家庭へ広く周知し、参加いただく講座等について記載しています。

委員名	〇〇委員
施策の柱	
施策	
意見	政策分野4について、全体的に持論のような表現となっている印象があり、課題の認識については様々な想定のうちの1つであるべきと考えるため、断定するような表現は工夫の余地があるのではないか。
基本計画の修正	<p>施策の柱 4-2：施策の柱の方向性「加えて、子どもがたくましく生きていくために必要な生活習慣や、規範意識、思いやりの心などは、親から子への教育の中で身につきます。」は、家庭教育を取り上げ、第2次島田市総合計画後期基本計画の表現を引き継いだものですが、御指摘から、島田市こども計画の家庭教育講座に関する記載に合わせ修正します。</p> <p>【修正後】</p> <p>家庭での教育は、子どもの「生きる力」の基礎的な資質や能力を培ううえで重要な役割を担っています。</p> <p>施策の柱 4-5：施策の柱の方向性「スポーツは心身の健康と密接に関わっています。」については、持論や断定的といった印象を回避するため、スポーツ基本法の総則掲載文を引用しつつ、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正後】</p> <p>スポーツは、心身の健康の保持増進に重要な役割を果たしているため、(以下2行目の文章につなげる)</p> <p>※参考 スポーツ基本法（総則抜粋）</p> <p>また、スポーツは、人と人との交流及び地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するものであり、人間関係の希薄化等の問題を抱える地域社会の再生に寄与するものである。さらに、<u>スポーツは、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たすものであり、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠である。</u></p>

委員名	〇〇委員
施策の柱	4-3 将来にわたって活躍できる子どもを育てる（義務教育）
施策	2 「豊かな心」「確かな学力」「健康な体」を育成します
意見	自己肯定感の評価について「高い低い」という表現が正しいのか違和感がある。
回答	自己肯定感が高い・低いという表記で間違いありません。

委員名	〇〇委員
施策の柱	4-3 将来にわたって活躍できる子どもを育てる（義務教育）
施策	4 子どもにとって望ましい学校環境づくりを推進します
意見	学校現場では、放置された遊具が見られる。市の財政状況などを考慮すると対応が難しい面があることも承知しているため、「計画的に進め」という表現では弱いのではないか。例えば「必要なことを」という形容詞を追加すべきではないか。
基本計画の修正	改築工事は、学校の総合的な計画に基づく工事の意味合いがありますが、改修、修繕工事については「雨漏り改修工事」等計画外の突発的な工事も含まれるため、御指摘を踏まえ、「必要不可欠な」という表現を追加します。 【修正後】 学校施設の改築工事や学校生活に必要不可欠な改修、修繕工事を計画的に進め、安心して学ぶことのできる学校環境の整備を進めます。

委員名	〇〇委員
施策の柱	4-5 生涯を通じてスポーツを楽しめる環境をつくる（スポーツ）
施策	3 スポーツ活動の場を適切に管理運営します
意見	異常気象により子どもの運動環境は大きく変わっている現状があることから、昨今の気温上昇についての文言を入れるべきではないか。また、指導者によって子どものスポーツ環境が変わるため、指導者（監督者）への教育に関する施策も必要ではないか。
回答	熱中症対策も含め「社会体育施設の安全性」としています。 平成30年度のローズアリーナへの空調設備設置、R7年度の学校体育施設へのスポットクーラー設置など、熱中症対策にも取り組んでいます。 また、指導者等の教育については、スポーツ少年団の指導者等は、日本スポーツ協会公認指導者資格の保有が必須であるため、その際に講習等を受けることになります。 国や県などからの安全指導に係る通知があった場合は、島田市スポーツ協会等へ情報提供をしていきます。

委員名	○○委員
施策の柱	4-2 地域全体で子どもを育む（学校支援・子ども支援）
施策	1 地域全体で学校教育を支援し、教育力の向上を図ります
意見	様々な地域で、家庭環境に課題のある子どもへの学習支援は継続して行われるべきだと考える。
回答	家庭の理由で学習機会が限られている子どもの支援として、今後も、子どもの学習・生活支援事業（市内8か所）や地域の人材を活用した学習支援である寺子屋事業（1か所）に取り組んでいきます。

委員名	○○委員
施策の柱	4-5 生涯を通じてスポーツを楽しめる環境をつくる（スポーツ）
施策	
意見	行政は健幸マイレージなど運動してみようと思うきっかけづくりに取り組んでいると感じた。
回答	今後も、気軽にスポーツを楽しめる機会を提供していきます。

委員名	○○委員
施策の柱	
施策	
意見	政策分野4全体について、行政だけでは解決が難しい課題もあることから、「民間」の力の活用という視点も必要ではないか。
回答	民間の力を活用することも視野に入れ、各施策の推進や課題の解決に向けて取り組んでいきます。

委員名	〇〇委員
施策の柱	5-4 育まれた歴史・文化で、地域愛の醸成を図るとともに学びの場を提供する（歴史・文化）
施策	2 歴史・文化資源を活用し、にぎわいを創出します
意見	川越遺跡の通りのお祭りや店舗に来てくれる人は、河原町など地元の人が多い印象。外部に魅力が伝わって誘客につなげられるとよい。また、空き店舗の活用について、島田市の特産品を扱う店舗を増やすと、魅力も同時に伝えることができるのではないか。
回答	<p>イベント等の情報を届けたい相手に対し、最適なタイミング、最適な手法により情報を届けることで、効率的・効果的な情報発信をし、市内だけでなく、市外からの誘客につなげていきます。</p> <p>川越遺跡には「空き店舗」は無いので、「空き家」と捉えて回答します。川越遺跡の活用については、国指定の史跡として指定されているため、文化財保護法による管理や保存の制約を受けるため、復元家屋（仲間の宿・三番宿・十番宿）は、現在スポット的に和菓子バル等などのマルシェのイベントで活用をしたり、食事会場や講座会場として貸し出したりしてにぎわいを創出しています。</p> <p>→5-4の2で表しています。</p>

委員名	〇〇委員
施策の柱	5-4 育まれた歴史・文化で、地域愛の醸成を図るとともに学びの場を提供する（歴史・文化）
施策	1 歴史・文化資源を守り、次世代に繋げます
意見	「歴史・文化資源を大切に保存します」という記載など、どのように保存していくのかがわかりづらいため、より具体的な表現が必要ではないか。
基本計画の修正	<p>表現が抽象的な部分もありますので御意見を参考に、具体化させました。</p> <p>【修正後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保存活動の支援により歴史・文化資源を大切に保存し、市民が文化財に親しむことのできる環境を守ります ・祭りや伝統芸能を将来にわたって受け継ぐため、地域や関係団体等と連携し、担い手の育成と継承活動を支援します

委員名	〇〇委員
施策の柱	5-2 島田の魅力を発信し、地域の活性化につなげる（シティプロモーション）
施策	
意見	島田市に関する魅力の発信やイベントでの出店など「継続的に」実施するような記載が必要ではないか。
回答	施策の方向性にある「戦略的」の部分で「継続」という意味も含めて表現しています。

委員名	〇〇委員
施策の柱	5-3 誰もが暮らしたい、関わりたいと思う活気ある地域をつくる（移住・交流）
施策	2 関係人口の創出・拡大を図ります
意見	ふるさと納税について、東京都や愛知県など他県からの注文依頼もあり、島田市に関心を持っている人も一定数いることから、有効にアピールできるツールとして有効活用できるとよいのではないか。
回答	関係人口の創出・拡大を図る1つの手段としてふるさと納税制度を活用していきます。 →5-3の2で表しています。

委員名	〇〇委員
施策の柱	5-2 島田の魅力を発信し、地域の活性化につなげる（シティプロモーション）
施策	2 シティプロモーションを推進します
意見	秋葉原にある静岡県のアンテナショップなどの場や移住者セミナーなどの機会を活用し、島田市の特徴である食や歴史（大祭や茶娘など）などをチーム（食の場合はマエストロチーム）でシティプロモーションを図るべきではないか。
回答	シティプロモーションの方向性として、島田市が誇る歴史・文化資源や観光資源をはじめとした魅力を戦略的かつ効果的に全国さらには世界に発信することで、認知度・魅力度を高め、地域活性化を図っていくとしています。 シティプロモーションでは、組織化したチームというよりは、取組内容に応じて、様々な形で市民や事業者などと連携して取組むことを考えています。 島田市の食や歴史などについても、一体的に考え、発信していきます。

委員名	○○委員
施策の柱	5-1 地域の魅力を活かした観光振興を図る（観光）
施策	2 地域の観光消費を拡大させます
意見	デジタルを活用したいことは理解できるが、「デジタル」の何を活用するのかという具体的の記載が必要ではないか。
回答	情報発信では、観光 WEB サイトの強化、広告配信等でデジタルの活用を想定しています。観光消費の拡大では、商品の予約～決済や購入を WEB 上で行うことを想定しています。様々なデジタルの活用を想定していることから「デジタルの活用」と表現しています。

委員名	○○委員
施策の柱	5-3 誰もが暮らしたい、関わりたいと思う活気ある地域をつくる（移住・交流）
施策	1 移住促進を図ります
意見	デジタルを活用したいことは理解できるが、「デジタル」の何を活用するのかという具体的の記載が必要ではないか。
基本計画の修正	「デジタルを活用し、」を「島田市移住定住ポータルサイトや SNS などを活用し」に修正します。 【修正後】 ・移住相談会や移住ツアーを行うとともに、島田市移住定住ポータルサイトや SNS などを活用し、効果的に移住希望者へ情報を届けます

委員名	○○委員
施策の柱	5-1 地域の魅力を活かした観光振興を図る（観光）
施策	3 快適な旅行の環境を整備し、観光客の満足度を高めます
意見	静岡空港は 4,000 人/月の利用があると承知している。空港からの二次交通の充実や Wi-Fi 環境の整備、インバウンドも視野に入れた多言語への対応など様々な整備を推進するような記載が必要ではないか。
回答	増加するインバウンドの獲得は課題であり、インバウンドに対応した受け入れ環境の整備は必要だと考えています。 「インバウンド旅行客に対応した受入環境の整備を推進します」と表現し、多言語化や Wi-Fi 環境整備等について必要に応じて整備していくこととしています。 →5-1 3 で表しています。

委員名	〇〇委員
施策の柱	5-1 地域の魅力を活かした観光振興を図る（観光）
施策	1 認知度を向上させ、国内外からの誘客につなげます
意見	「静岡空港の活用や連携」の文言もいれてはどうか。
基本計画の修正	<p>島田市は空港だけでなく、新東名高速道路やバイパス、JRなどが存在します。そのため、全てを包含する表現として「交通の要衝に位置する強みを活かしつつ、」としましたが、具体例をいくつか例示しました。</p> <p>【修正後】</p> <p>近隣市町との連携を図りながら、新東名高速道路や富士山静岡空港といった交通の要衝に位置する強みを活かした観光施策を推進します。</p>

委員名	〇〇委員
施策の柱	5-3 誰もが暮らしたい、関わりたいと思う活気ある地域をつくる（移住・交流）
施策	1 移住促進を図ります
意見	東京で静岡県人会などのネットワークがあると承知しているが、島田市会のようなものも展開すべきではないか。
回答	首都圏で活躍している方を招いた首都圏交流会を年1回実施しています。

委員名	〇〇委員
施策の柱	6-3 商店街や個店を支援し、地域のにぎわいを生み出す（にぎわい創出）
施策	1 空き家・空き店舗などを活用したにぎわいづくりを進めます
意見	商店街に駐車場がないお店が多いため路肩の駐車が多く見られるなど利便性が悪いことから、既存の店舗へのアクセスを容易にするような駐車場の整備など工夫が必要ではないか。店舗の新設の際にも役立つと考えられる。
回答	<p>第3次島田市総合計画前期基本計画においては、取組に弾力性を持たせるため、包括的な表現を用いています。</p> <p>ご意見をいただいた駐車場の整備については、6-3-2における取組の1つに位置付けられますので、その必要性について研究していきたいと考えます。※N056に同じ</p>

委員名	〇〇委員
施策の柱	6-3 商店街や個店を支援し、地域のにぎわいを生み出す（にぎわい創出）
施策	
意見	地域のにぎわいの成果指標については、1日当たりの通行量で把握することができるのか不明である。また、「にぎわい」の定義が不明である。
回答	6-3における「にぎわい」は、人々が行き交い、集まり、交流している様子・活気のある様子と捉えています。 中心市街地の歩行者等通行量のみで「にぎわい」が測れるものではありませんが、それを測るための重要な要素の1つとして、商工課にて毎年中心市街地の歩行者等通行量を計測しております。

委員名	〇〇委員
施策の柱	6-4 地域の特色を活かし、付加価値の高い農林業を進める（農業・林業）
施策	1 次の世代へつながる「稼ぐ農林業」を目指します
意見	「稼ぐ農林業」を目指す中で、成果指標が森林整備面積で適当であるのか。
回答	各種事業によっても短期的に森林整備面積は増加しますが、成果指標における森林整備面積は、林業を付加価値の高いものとすることで、担い手の確保・林業経営体の活性化へとつなげていき、結果として森林整備面積が増えるというフローを意図したものです。

委員名	〇〇委員
施策の柱	6-1 地域で活躍する人を増やし、地域経済を発展させる（人材確保）
施策	2 活躍する人を育て、応援します
意見	6-1に記載の勤労者のスキルアップ・リスキリングについては、中小企業を育てることにつながるため、6-2に掲載することが適当ではないか。
回答	今回ご意見をいただいたスキルアップ・リスキリングという点においては、人を育てるという部分に主眼を置いたものですので、6-1の掲載のままでさせていただきます。しかし、人を育てることは企業を育てることにつながるという点はご意見のとおりであり、6-2には「人を大切にする経営大賞」などの事業を置かせていただいております。

委員名	〇〇委員
施策の柱	6-2 未来を見据えた経営に取り組む中小企業を育てる（中小企業支援）
施策	1 未来を見据えた経営に取り組む中小企業を応援します
意見	廃業件数が増えていることから、事業承継のキーワードを入れるべきではないか。
回答	6-2-1において「中小企業者等の事業継続や業態転換をバックアップします。」という文言がありますが、「事業継続」は「経営を持続させていくこと」のほか、「会社・屋号が次世代に続いていくこと」という事業承継の側面も含めた文言として使用しております。※No52に同じ

委員名	〇〇委員
施策の柱	6-1 地域で活躍する人を増やし、地域経済を発展させる（人材確保）
施策	2 活躍する人を育て、応援します
意見	「年齢、性別等に捉われず、誰もが働く場を提供します」という記載は、「3 働きやすい職場づくりを支援します」に該当するのではないか。
回答	ご意見をいただきました記載は、就労機会の提供に主眼を置いたものです。 働きたいママや高齢者の就労について支援をしていく取組であるため、6-1-2のままとさせていただきます。

委員名	〇〇委員
施策の柱	6-2 未来を見据えた経営に取り組む中小企業を育てる（中小企業支援）
施策	
意見	経営者に対する支援も必要ではないか。
回答	ご意見をいただきましたとおり、6-2は経営者に対する支援を行う施策の柱です。 経営者のニーズや社会情勢など、多角的な視点から、そのときに必要な支援策を検討し、取り組んでまいります。

委員名	○○委員
施策の柱	6-1 地域で活躍する人を増やし、地域経済を発展させる（人材確保）
施策	3 働きやすい職場づくりを支援します
意見	<p>3. 働きやすい職場づくりを支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サテライトオフィス設置の支援などにより、多様な働き方ができる環境を形成します。 ・働き手一人ひとりを大切にした、安心して働き続けることができる職場環境をつくります。 <p>という記載について、1 ポツと 2 ポツ目の順番を入れ替えた方がよいのではないか。</p>
基本計画の修正	<p>どちらも重要な取組であると捉えておりますが、より注力すべき取組を考え、ご意見をいただきましたとおり順番を入れ替えることといたします。</p> <p>【修正後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き手一人ひとりを大切にした、安心して働き続けることができる職場環境をつくります。 ・シェアオフィス等の開設やサテライトオフィスの設置の支援などにより、多様な働き方ができる環境を形成します。

委員名	○○委員
施策の柱	6-1 地域で活躍する人を増やし、地域経済を発展させる（人材確保）
施策	3 働きやすい職場づくりを支援します
意見	市内でサテライトオフィスを設置できる企業は多くないと考えられるため、対象とする企業規模や表現は検討すべきではないか。
基本計画の修正	<p>サテライトオフィスの設置については、市外／県外の企業が市内にサテライトオフィスを設置する際の支援をしているものです。また、サテライトオフィスの設置の支援のほか、シェアオフィス等の開設の支援も行っています。</p> <p>いずれも働き方の多様化に応える取組と捉えており、今回のご意見を踏まえ、どちらも例示として記載する形に変更させていただきます。</p> <p>なお、記載の順序は、より要望の多いシェアオフィス等の開設を前とします。</p> <p>【修正後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シェアオフィス等の開設やサテライトオフィスの設置の支援などにより、多様な働き方ができる環境

委員名	〇〇委員
施策の柱	6-2 未来を見据えた経営に取り組む中小企業を育てる（中小企業支援）
施策	1 未来を見据えた経営に取り組む中小企業を応援します
意見	GX、DX 関連の記載について、「経営革新」ではスケールの大きい誰も行ったことがないという印象があるため、「経営戦略」へ変更すべきではないか。
回答	DX・GXは、トランسفォーメーションの言葉が意味するように、ビジネスモデルや業務プロセスを根本的に変革することを意味します。また、DX・GXは、第3次島田市総合計画の横断的な考え方としても位置付けられております。 物価上昇・燃料費高騰により地域の経済活動が大きな影響を受けている中でも、持続可能なまちづくりを進めていくためには、これまでにない取組を行っていく必要があると捉えております。したがいまして、6-2における「経営革新」という文言については、そのままとさせていただきます。

委員名	〇〇委員
施策の柱	6-2 未来を見据えた経営に取り組む中小企業を育てる（中小企業支援）
施策	1 未来を見据えた経営に取り組む中小企業を応援します
意見	商工会に寄せられる廃業の主な理由は後継者がいなことであることからも、「事業承継」という文言は入れるべきではないか。
回答	6-2-1において「中小企業者等の事業継続や業態転換をバックアップします。」という文言がありますが、「事業継続」は「経営を持続させていくこと」のほか、「会社・屋号が次世代に続していくこと」という事業承継の側面も含めた文言として使用しております。※No46 に同じ

委員名	〇〇委員
施策の柱	6-2 未来を見据えた経営に取り組む中小企業を育てる（中小企業支援）
施策	1 未来を見据えた経営に取り組む中小企業を応援します
意見	「新分野展開」という文言を入れてもよいのではないか。
回答	6-2-1においては、「新たな事業展開」という類似の文言を記載させていただいております。 DX・GXやビジネスマッチングの機会を活用し、既存事業の新たな分野・販路の開拓にとどまらず、市内中小企業者等が新たな事業を展開するというところまで目指していただきたいという想いから、「新たな事業展開」という文言とさせていただいております。

委員名	○○委員
施策の柱	6-3 商店街や個店を支援し、地域のにぎわいを生み出す（にぎわい創出）
施策	3 意欲ある個店を支援し、魅力ある商品展開を応援します
意見	意欲のある個店の創出のためには、「人を大切にする経営」という文言を入れてもよいのではないか。
回答	ご意見をいただきました「人を大切にする経営」については、個店も含めた企業支援の一環として、6-2-1 の「魅力ある経営を実践する事業者を模範とした市内事業者の経営力向上を図ります。」に包含しているものと整理しております。

委員名	○○委員
施策の柱	6-3 商店街や個店を支援し、地域のにぎわいを生み出す（にぎわい創出）
施策	1 空き家・空き店舗などを活用したにぎわいづくりを進めます
意見	商店街の賑わいのため、「商店街の核となる事業者を誘致するという観点が重要ではないか。
回答	ご意見のとおり中心市街地の活性化には核となる事業者が必要になると認識しております。 外部から誘致する、一から育てるなど、その発掘手法は様々ありますが、外部から誘致した場合も、島田市の現状の把握、その現状に合わせた対策の構築をサポートしていく必要があると認識しております。そのため、6-3-1においては「にぎわい創出の核となる人材の育成・支援を行い」という文言を記載させていただいております。

委員名	○○委員
施策の柱	6-3 商店街や個店を支援し、地域のにぎわいを生み出す（にぎわい創出）
施策	1 空き家・空き店舗などを活用したにぎわいづくりを進めます
意見	車社会であることもあるので、市街地活性化のうえで、駐車場の整備が必要ではないか。
回答	第3次島田市総合計画前期基本計画においては、取組に弾力性を持たせるため、包括的な表現を用いています。 ご意見をいただいた駐車場の整備については、6-3-2 における取組の1つに位置付けられますので、その必要性について研究していきたいと考えます。※No42 に同じ

委員名	○○委員
施策の柱	6-4 地域の特色を活かし、付加価値の高い農林業を進める（農業・林業）
施策	1 次の世代へつながる「稼ぐ農林業」を目指します
意見	めざそう値「農林業の振興」に関する市民満足度という指標設定では、わかりづらいのではないか。
回答	<p>「農林業の振興」という大きなテーマかつ満足度という主観を聞いているため、わかりづらいという印象を与えてしまうという点は留意してまいります。</p> <p>一方で、めざそう値は市民の皆さんのがんの主観的な意見を聴取して数値化しているものです。</p> <p>市民の皆さんのがん農林業分野において求めるものもそれぞれ異なっており、テーマを小さくすることで市民の皆さんのがん農林業の分野に求める声が拾えなくなってしまうことが懸念されます。</p> <p>したがって、6-4 のめざそう値においては、引き続き「農林業の振興」に関する市民満足度を置かせていただきたいと考えております。</p>

委員名	○○委員
施策の柱	7-2 安全で快適な生活基盤を整える（生活道路・河川・公園・上下水道）
施策	
意見	島田市の特性上、山間地が多いため、土砂災害対策に急傾斜整備も含めてよいのではないか。
回答	1-1-2 「自然災害に備えます」に土砂災害の項目を設け、急傾斜地崩壊などの土砂災害防止対策を記載しています。

委員名	○○委員
施策の柱	7-1 便利で魅力あるまちをつくる（都市計画）
施策	
意見	整備を進める中で、空き家が問題になることがあるため、文言を入れてもよいのではないか。
回答	3-2-2 「空き家の発生を抑制するとともに、空き家の流通促進や危険な空き家対策の強化に努めます」の項目において空き家の管理や有効活用、危険な空き家の除去について記載しています。

委員名	○○委員
施策の柱	7-1 便利で魅力あるまちをつくる（都市計画）
施策	2 地域特性に応じた拠点の整備を推進します
意見	富士山静岡空港周辺は閑散としているため、にぎわい創出のためにも商店や企業などを誘致すべきではないか。KADODE 大井川のような施設は一案と考える。
回答	県の「空港ティーガーデンシティ構想」の考え方を踏まえて各種取り組みを検討していきます。

委員名	○○委員
施策の柱	
施策	
意見	島田駅前の道はガタガタしており、ベビーカーで通ることも大変だが、整備を行ったからと言って歩行者が必ずしも増えるわけではない。にぎわいの創出という文言もあることから、このようなハード面だけでなくソフト面への支援という観点が必要ではないか。
回答	ご意見をいただきましたとおり、中心市街地のにぎわい創出には、ハード面の整備だけでなく、ソフト面からのアプローチも重要と認識しております。 ソフト面の施策等については、6-3に記載をしており、ハード・ソフトの二面から中心市街地のにぎわいづくりを進めてまいります。

委員名	○○委員
施策の柱	7-1 便利で魅力あるまちをつくる（都市計画）
施策	2 地域特性に応じた拠点の整備を推進します
意見	島田金谷 IC 付近は KADODE 大井川以外にも「稼ぐ拠点」はつくる想定か。
回答	「稼ぐ拠点」とは特定の商業施設を指すものではありません。新東名島田金谷 IC周辺地区を「稼ぐ拠点」と位置づけ、企業立地等により地域経済活性化を目指すものです。

委員名	○○委員
施策の柱	7-1 便利で魅力あるまちをつくる（都市計画）
施策	2 地域特性に応じた拠点の整備を推進します
意見	KADODE 大井川の地域だけ稼ぐことができても、市民に活性化の恩恵があるかは不明瞭。企業等の誘致による収益増は見込むことができるが、観光客が来る場所は限定的であり、「稼ぐ拠点」として市内全体にその効果が波及するような役割を担うことはできているのかわからない。
回答	KADODE OOIGAWA を核とする賑わい交流拠点は、施設自体が地域や農業の魅力に触れることのできる「体験型フードパーク」をテーマに掲げていますが、施設整備のコンセプトとしては、ここが最終目的地となるのではなく、そこから先に広がる体験を提供するべく、島田市をはじめとした大井川流域における観光資源を包括的にネットワークし、観光交流や地域交流のハブ＝結び目となることを目指しています。 また、「稼ぐ拠点」とは特定の商業施設を指すのではなく、新東名島田金谷 IC周辺地区を「稼ぐ拠点」と位置づけ、企業立地等により地域経済活性化を目指すものです。

委員名	○○委員
施策の柱	
施策	
意見	災害が多く全体的に道路も細い伊久身地域について、優先的に工事を行うという考え方はあるのか。
回答	道路事業については、改良事業及び維持修繕とともに、費用対効果と市民の生活基盤維持のバランスを考慮し、市内全域の状況を踏まえて優先順位を付けて判断しています。

委員名	○○委員
施策の柱	7-1 便利で魅力あるまちをつくる（都市計画）
施策	2 地域特性に応じた拠点の整備を推進します
意見	島田金谷 IC 付近の開発について、2029 年まで区画整備の「推進」では遅いと感じる。藤枝岡部 IC や牧之原 IC 付近も大きな開発が進んでいる中で、島田金谷 IC 付近は道路の拡幅と水路整備程の進捗具合であるため、明確な目標を持って進められるようすべきではないか。そうでなければ、将来的な経済発展は見通しにくく、工事もしづらくなるのではないか。
回答	島田金谷 IC 周辺地区では、「都市計画の手法を用いた規制と誘導により民間主体の個別開発を促すこと」を基本方針として、道路整備などで企業立地環境を整えることにより、企業立地の受け皿となる新たな産業用地の創出に取り組んでいます。併せて、区域内の一部では、島田市土地開発公社により、企業立地の呼び水となる工業用地の造成・販売も行っています。

委員名	○○委員
施策の柱	8-1 脱炭素社会の実現に挑戦する（脱炭素社会・循環型社会）
施策	1 エネルギーによる環境負荷を低減します
意見	8-1 の数値目標をどこまで厳しく設定するかということが重要。温室効果ガス排出量を減らさなければ森林や水など全てに影響する。やる覚悟をもって達成できる数値をおくべき。 また、ゼロカーボンシティ宣言を認識している市民がそこまで多くないと考えている。市自身の意識を向上させ、温室効果ガスの減少を年間どれだけ減らしていくという目標を持っていただきたい。取組を推進することでどの程度の効果があるのか具体的な数値で示していただきたい。
回答	施策の柱8-1については、「市域全体における温室効果ガスの年間排出量」を成果指標として設定します。 令和3年にゼロカーボンシティを表明し、令和6年度に策定した第3次島田市環境基本計画に基づき、温室効果ガスの排出量削減に取り組んできました。 その結果、温室効果ガスの排出量は令和3年度 909.9 千 t - CO ₂ /年が、令和5年度には 853.0 千 t - CO ₂ /年まで減少しています。 今後も、行政だけでなく市民や事業者にも協力をいただきながら、前期基本計画の計画満了期間である令和11年度には、673.6 千 t - CO ₂ /年を目指して温室効果ガスの排出量削減に努めてまいります。 なお、具体的な取組等については、第3次島田市環境基本計画や島田市地球温暖化対策実行計画において示しています。

委員名	〇〇委員
施策の柱	8-1 脱炭素社会の実現に挑戦する（脱炭素社会・循環型社会）
施策	1 エネルギーによる環境負荷を低減します
意見	建築業界に限ると、国の法規制は、事業主に金銭的な負担がかかる構造になっているため改善してほしい。また、里山や森林、農地保全など記載があるが、地域に人がいない中で、行政や企業が請け負うようなことも必要になっているのではないか。
回答	<p>令和7年に「建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律」が改定され、原則として全ての建築物に対して省エネ基準への適合が義務付けられました。これによって建築費用は増加しますが、一方で断熱性や気密性に優れた建築資材や高効率の設備・システムを導入することにより、消費エネルギーの削減といった地球環境への配慮だけでなく、快適空間の創出や光熱費削減等に大きな効果があるため、事業主の負担軽減も見込まれます。</p> <p>また、里山や森林、農地保全については、農業や林業従事者の事業継続の支援や森林環境譲与税を活用した森林整備の支援の取組に加えて、市民と協力しながら市内の自然環境の保全に取り組んでいます。</p> <p>今後、人口減少が進み、農地等の管理が困難となり耕作放棄地等の増加が見込まれる中で、農業者や関係機関と連携しながら、目指すべき将来の農地利用の姿を明確にした「地域計画」を定めてまいります。こうしたことを含めて、今後も引き続き、里山や森林、農地保全に努めてまいります。</p>

委員名	〇〇委員
施策の柱	8-1 脱炭素社会の実現に挑戦する（脱炭素社会・循環型社会）
施策	
意見	フードロス削減の記載が施策の柱の方向性にあるが、施策とその方向性に記載はないため、追記すべきではないか。
基本計画の修正	<p>御意見を踏まえて修正します。</p> <p>【修正後】</p> <p>市民・事業者のフードロス削減などのごみ減量やごみの資源化への意識啓発を図り、取組を促進します。</p>

委員名	○○委員
施策の柱	8-2 農地や森林を守り、みどり豊かな自然を育む（森林環境・農地保全、緑化活動）
施策	2 農地や里山環境を守ります
意見	「地域の実情に応じて、解消が困難な荒廃農地の対策を講じます」という表現について、このような限定した書きぶりになっている理由はなぜか。
回答	荒廃農地とならないように農地の保全に取り組む中で、急傾斜地の荒廃茶園等は、担い手の確保が困難なため、山林等への転換も検討する必要があることからこのような表現としています。

委員名	○○委員
施策の柱	9-2 デジタル技術の活用により市民の利便性を向上し、行政を効率化する（デジタル）
施策	1 市民サービスの利便性を向上します
意見	教えるも身につきにくいことや覚えようとしないことも想定されるため、高齢者に対しどのようにデジタルを活用していただくかという記載を追加すべきではないか。
回答	施策の柱 9-2 では、デジタル技術の活用により、市民の皆様へ向けたサービスを向上することと、行政側に対する行政経営の効率化、という2つの事項を記載しています。特に、前者「市民サービスの利便性を向上します」においては市民サービスの向上に主眼を置いていますが、この中で、デジタル技術を活用できる方とできない方の格差をなくすこと（デジタルデバイド）についても取り組みとして掲げています。

委員名	○○委員
施策の柱	9-3 公共施設の適切かつ効果的な利活用を進める（公共施設の保全・再編・利活用）
施策	1 公共施設を効率的に整備・運営します
意見	「施設のアンチエイジング」という言葉が軽い印象を受けるが如何か。
回答	各種公共施設の将来的な活用の方向性を踏まえて品質を適正化し、老朽化を防ぎながら長期的に使っていくことを平易に表現しました。品質の適正化、保有量の適正化、管理費の適正化をそれぞれアンチエイジング、スリム化、低コスト化と表現しています。

委員名	〇〇委員
施策の柱	9-3 公共施設の適切かつ効果的な利活用を進める（公共施設の保全・再編・利活用）
施策	
意見	今後学校の閉鎖が増えてくる中で、公的施設の利活用についても記載すべきではないか。
回答	9-3-1 「公共施設全体を総合的かつ計画的に管理します」において施設の統廃合・複合化に向けた取組を進め、保有量を適正化することを記載しています。あわせて、「公共施設マネジメント」の取組の一環として、公共建築物やインフラなど市が保有する施設の全体的な状況を踏まえつつ、これらを計画的に管理するための基本方針を定めています。 各公共施設の活用の方向性については上記計画に基づいて計画的に実施していきたいと思います。

委員名	〇〇委員
施策の柱	9-2 デジタル技術の活用により市民の利便性を向上し、行政を効率化する（デジタル）
施策	2 行政経営の効率化を推進します
意見	行政組織の規模の縮小などは検討されていないのか。
回答	9-1-1 「多様化する市民ニーズや行政課題に対応するための行財政改革を推進します」では、経営資源の効果的な配分・活用について記載しており、行政組織の再編についてもこの考えに基づいて検討しています。